



再発見！ふるさとの魅力

10月29日、北有馬町自治会長会主催で「ふるさと再発見！北有馬町の名所を巡るバスツアー」が開催されました。

ツアーは、町内の史跡を巡ることでまちの魅力を再認識することを目的に実施されました。参加者34人はガイドの「有馬つんなも会」の説明を聞きながらアーチ式石橋群、原山ドルメンなど北有馬町内8カ所を見学しました。



中学生が 世界遺産創作劇を披露

10月27日、南有馬中学校の3年生が、島原・天草一揆をテーマとした創作劇を上演しました。

この演劇は、原城跡を構成資産に含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の来年夏の世界文化遺産登録へ向けた機運・郷土愛の醸成のため、11年ぶりに上演されました。

演劇は「一期一会 日暮城から見える景色」と題され、一揆で犠牲となった住民たちの人間模様を描くストーリーです。



大にぎわい みそ五郎まつり

伝説の大男「みそ五郎」にちなんで毎年行われている「みそ五郎まつり」が11月4日から5日にかけて、西有家町須川商店街一帯で開催されました。

両日とも好天に恵まれ、みそ五郎パレードをはじめ、子どもみこしパレードやカラオケのど自慢大会、チビッコ綱引き大会など大勢の人でにぎわいました。また、今年は初めて「南島原市健康福祉まつり」を同時開催し、来場者は買い物のかたわら健康チェックなどを利用していました。



台湾の常春藤高校と口加高校が学校交流

10月20日、台湾台中市の常春藤高校修学旅行団25人は県立口加高校を訪問し、同校グローバルコースの生徒(1年生15名)と初めての学校交流を行いました。

今回の学校交流ではゲームや校内見学などを行い、コミュニケーションを取りました。最後に常春藤高校の生徒から「一緒に様々な交流ができて非常に満足している。忘れられない交流になりました。」とあいさつされました。口加高校の生徒にとっても、知らない者同士が知らない文化を知るいい機会となりました。



活きたままの車えびを全国出荷



11月6日、深江町漁協の吉田組合長をはじめとする関係者が、活車えびの出荷開始を市長に報告するため、市役所を訪れました。

車えびは、有明海で育てられたキュッとしまった身と甘さが自慢で、1年

かけて稚えびから育てる南島原市おすすめの逸品です。

歳暮や年始の贈答品としていかがでしょうか。

Focus in 南島原 まちの話題



“もえあず”もそうめんに舌鼓 ～南島原 Food Expo～

10月22日、本市の海の幸、山の幸が大集合するグルメイベント「南島原FoodExpo(フードエキスポ)2017」を須川港多目的防災広場で開催しました。

今回の目玉は何とんでもない大食いグルメタレント“もえあず”さんの参加です。“もえあず”さんは島原手延そうめんを使った「わんこそうめん大食い対決」に参戦し、他を寄せ付けぬ圧倒的な食べっぷりで会場を沸かせました。



ありえ蔵めぐり ～おしゃべり蔵シック～



10月14日から15日にかけて、有家町でありえ蔵めぐり音楽祭が開催されました。両日ともあいにくの雨模様でしたが、日本酒やみそ料理の試飲・試食、スイーツなどの販売が行われ、訪れる人々を楽しませました。

ありえ蔵めぐりは年2回行われており、秋は“ありえ蔵めぐり音楽祭”と銘打って酒蔵コンサートを開催しています。

「まちの話題」では、市内の行事や出来事を紹介しています。紙面の都合上、広報南島原に掲載できなかった話題や写真は南島原市ホームページの「まちの話題 WEB 版」に掲載しています。ぜひご覧ください。

●南島原市ホームページ <http://www.city.minamishimabara.lg.jp>

南島原市

検索